科目番号

A動物7

令和5年度 年間指導計画

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教 科	農業	科 目	畜産	単位数	2	学年・学科	2学年A科
教科書	実教「畜産」		副教材				

学習目標	○家畜の飼育と畜産経営について理解するとともに、関連する技術を身に付けます。 ○家畜の飼育と畜産経営に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けます。 ○家畜の飼育と畜産経営について生産性や品質の向上につながるよう自ら学び、主体的かつ共同的に取り組む態度を身に付けます。
学習方法	○講義及び実技にて、畜産の知識と技術を習得します。

学習評価	評価の観点		評価の観点の趣旨	学期	重み付け	割合 考査	割合 考査以外
	a	知識・技能	家畜の飼育と畜産経営について基礎的な知識や技術を身に付け、家畜の飼育と畜産経営の重要性を理解するとともに、技術を適切に活用している。	前期中間	40 %	25	15
				前期末	40 %	25	15
				後期中間	40 %	25	15
				後期末	40 %	25	15
	b	思考・判断・表現	家畜の飼育と畜産経営に関する課題解決を目指して自ら考え、適切に判断し、自ら解決しようとする能力が身についている。	前期中間	30 %	25	5
				前期末	30 %	25	5
				後期中間	30 %	25	5
				後期末	30 %	25	5
	c	主体的に学習に取り組む態度(意欲)	家畜の飼育と畜産経営について興味・関心を持ち、家畜の飼育と畜産経営の現状や課題の改善を目指して、主体的に取り組もうとする態度を身に付けている。	前期中間	30 %	5	25
				前期末	30 %	5	25
				後期中間	30 %	5	25
				後期末	30 %	5	25

学期	単元名（題材）	学習内容（小単元）	評価の観点 a	b	c	単元の評価規準	評価方法
前期中間	○家畜と飼料	・家畜の消化器官と飼料の消化・吸収について学びます。 ・飼料の特性と給与について学びます。 ・飼料作物の特徴と草地の管理について学びます。	○	○	○	・家畜の栄養と飼料、草地の管理について興味をもつことができる。 ・家畜と栄養の概念を通して、食料生産における畜産と飼料の関係について、その課題を考えることができる。 ・各家畜の消化器官と消化・吸収について、特性を理解し飼料給与を行うことができる。 ・家畜の消化吸収と栄養素の代謝について、その仕組みを理解している。	授業プリント 実習レポート 実習態度 定期考査
			○	○	○		
			○	○	○		

前期末	○家畜の飼育 （養豚）	・ブタの特性や品種、施設・設備にいて学びます。 ・繁殖整理、子豚の育成について学びます。 ・肉豚の肥育、豚肉の流通について学びます。 ・ブタの病気と予防衛生、養豚の経営について学びます。	○	○	○	・家畜飼養の実際（養豚）に興味・関心を持ちその改善を目指すことができる。 ・家畜飼養の実際に関する諸課題の解決を考えることができる。 ・家畜の飼育に関する作業を理解し技術を活用できる。 ・家畜飼養の実際（養豚）で家畜飼育の意義を理解している。	授業プリント 実習レポート 実習態度 定期考査
			○	○	○		
			○	○	○		
			○	○	○		
後期中間	○家畜の飼育 （乳牛）	・乳牛の体の特徴について学びます。 ・乳牛の性質や乳牛の一生について学びます。 ・生産物の特徴と利用について学びます。 ・乳牛の品種と改良について学びます。 ・飼育方法と施設・設備について学びます。 ・乳牛の生理と飼育技術について学びます。 ・飼料の種類と給与について学びます。	○	○	○	・家畜飼養（肉牛・その他家畜）および野生動物の実際に興味・関心を持ち、その改善を目指すことができる。 ・家畜飼養の実際（肉牛・その他家畜）および野生動物に関する諸課題の解決を考えることができる。 ・家畜の飼育および野生動物に関する作業を理解し技術を活用できる。 ・家畜飼養の実際（肉牛・その他家畜）および野生動物の意義を理解している。	授業プリント 実習レポート 実習態度 定期考査
			○	○	○		
			○	○	○		
			○	○	○		
			○	○	○		
			○	○	○		
後期末	○家畜の飼育 （肉牛）	・肉牛の体の特徴について学びます。 ・肉牛の性質や肉牛の一生について学びます。 ・生産物の特徴と利用について学びます。 ・肉牛の品種と改良について学びます。 ・肉牛の衛生と病気について学びます。 ・肉牛経営とその改善について学びます。	○	○	○	・家畜飼養（肉牛・その他家畜）および野生動物の実際に興味・関心を持ち、その改善を目指すことができる。 ・家畜飼養の実際（肉牛・その他家畜）および野生動物に関する諸課題の解決を考えることができる。 ・家畜の飼育および野生動物に関する作業を理解し技術を活用できる。 ・家畜飼養の実際（肉牛・その他家畜）および野生動物の意義を理解している。	授業プリント 実習レポート 実習態度 定期考査
			○	○	○		
			○	○	○		
			○	○	○		
			○	○	○		
			○	○	○		